2022『新編フォトグラフィア地理図説』
本誌「Q」の解答（例）・解説

ページ	
7	約9,600km。東京を通る子午線全周が約40,000km。図上では子午線全周の長さが5.0cm，東京～ロンドン間が1.2cmなので，比例計算により算出する。
9	相対値。数量そのものが絶対値であるのに対して，相対値とは地理的事象を空間的・時間的・数量的に比較した割合，密度，指数，平均値などをいう。
11	①略　②丘陵や山地の緩斜面。氾濫原の一部にもみられる。　③北西（流向を示す矢印）　④小倉駅，周辺の大規模な宅地開発の進展　⑤A-干拓地・後背湿地，水田　B-丘陵の緩斜面，茶畑や竹林　⑥洪水による浸水ー宇治川に隣接した後背湿地，地震による液状化ー水分を多く含んだ砂質の軟弱地盤。
13	略
18	長所：人やモノの移動効率が高まり，生産性が向上する。優秀な人材を確保しやすくなる。大規模市場が誕生する。地方ではコンパクトシティ政策が推進される。 短所：地方との格差が大きくなる。通勤距離が長くなる。交通の混雑。自然災害の際の被害が大きくなる。疫病が大流行する。
21	② ７月１ 日16:35。本文中の[考え方]を参照。
24	プレート同士の衝突によって造山運動が起こることから，主に狭まる境界に新期造山帯は形成されている。
27	火山の地熱を利用した地熱発電や火山活動によって湧き出る温泉の利用，保水力の高い火山灰地を利用した農業に加え，美しい景観から観光地，保養地として私たちはさまざまな恩恵を受けている。
28	硬い地層の急斜面はぶどうの栽培に適しており，軟らかい地層の緩斜面では，ぶどうのほかに小麦も栽培されている。
30	低平で水はけの良くない氾濫原において，微高地となっている自然堤防は水はけも良いことから，古くから集落として利用されてきた。
32	リアス海岸（例：三陸海岸南部，若狭湾，英虞湾など），フィヨルド（例：ノルウェー西海岸，スコットランド，チリ南部など），エスチュアリー（三角江）（例：テムズ川，セーヌ川，エルベ川など）
33	ラグーン（潟湖）。砂州や沿岸州が発達することにより閉じられて形成される湖。
34	地球全体が寒冷であった氷期においてもサンゴ礁の形成が可能であった海域では，サンゴが継続的に形成されて堡礁や環礁といった比較的規模の大きなサンゴ地形が発達した。一方，間氷期にのみサンゴ礁の形成が可能であった海域では，サンゴ礁の形成が断続的になったことから，規模が小さい裾礁の形成にとどまっている。
36	日干しレンガでつくられ，家の窓は小さくて少なく，砂や強い日差しを避ける工夫がなされている。
37	石灰岩の溶食作用。
38	夏季は熱帯収束帯（赤道低圧帯）の影響で雨季となり，冬季には亜熱帯高圧帯に入り乾季となる。
40	亜熱帯高圧帯と大陸の西側を赤道方向に流れる寒流の影響を受けて形成される。例として，アタカマ砂漠，ナミブ砂漠などの海岸砂漠。
42	ペルー沖の海面水温が高くなり，太平洋西部の海面水温が下がる現象。
43	大陸と海岸では地熱が異なる。温まりやすく冷めやすい大陸では，夏季に上昇気流が発生して低圧帯になり，海岸が高圧部となるので，季節風は海岸から大陸に向かって吹く。一方，冬季は大陸が低温で下降気流が発生して高圧部になり，海岸が低圧部となるため，季節風は大陸から海岸に向かって吹く。
46	乾燥している地域は栗色土，湿潤地域は黒色土。
48	夏季は亜熱帯高圧帯の影響により高温乾燥。冬季は亜寒帯低圧帯の影響により雨季となる。
50	ユーラシア大陸の東岸のみに分布し，降水量は夏に多く，冬は大陸からの季節風の影響を受けて少雨で，気候の

	年較差が大きい。
52	気温の逓減率によって，同緯度の低地と比較して気温が低くなることに起因する気候。低緯度地域では通年で涼しく，気温の年較差が小さい「常春」とよばれる温暖な気候となる。
53	乾燥したステップ気候下によって，腐植質が流出することなく厚く堆積して形成された。
56	糸魚川・静岡構造線，日本海溝，駿河トラフ，南海トラフ，相模トラフ
68	欧米や日本などの先進国では環境意識の高まりや，有害物質の排出規制などの法整備によって対策が効果を発揮しているが，経済成長著しい新興国（発展途上国）では対策が後手に回っている国もある。
69	インドネシアでは用材採取やプランテーション開発による森林の減少，マングローブ林の消失がみられる（エビの養殖もあり）。中国では「退耕還林」政策を政府主導で進め，森林面積が増加。ブラジルでは大豆栽培や牧場開発のために熱帯林が伐採されている。フランスなどの先進国では森林資源の保全のため，計画的な植林を進めている（バイオマス発電の原料に人工林を積極的には用いていない）。
70	2000年代に入りBRICS諸国では人口増加（インド・ブラジル）や経済成長に伴ってエネルギー消費量が増加。そのため，CO_2排出量も高くなっている。一方，ドイツなどのヨーロッパの先進国では自然エネルギーを積極的に導入し，CO_2排出量が減少している。
71	土壌や湖沼への石灰の散布，硫黄酸化物や窒素酸化物排出時の排煙装置を設置。東欧諸国では旧式の工場設備や自動車が普及しているため，対応は遅れがち。
72	乾燥に強いトウモロコシや寒冷に強いジャガイモが南米からヨーロッパにもたらされた。特に寒冷に強いジャガイモはヨーロッパの小麦栽培に不向きな土地で栽培され，食糧不足を改善させた。また豚などの家畜の飼料としても利用されるようになった。
75	東アジア・東南アジア・南アジアのモンスーンによる夏の降水，気温の上昇が稲作に適している。
77	混合農業は小麦栽培の他，家畜の飼料用作物として，カブ類，クローバーなどの豆類を輪作で栽培している。
78	南北アメリカやオセアニアなど，かつてヨーロッパ人が 16 世紀以降に発見した新大陸が中心である。もともと人口が少なかったため，広大な土地を少人数で牧畜を行うようになった。
79	熱帯雨林気候，サバナ気候，温暖冬季少雨気候など雨季があり比較的温暖な気候の地域が多い。
81	住宅などの建築用のほかに薪炭・紙パルプ・ベニヤなど土木資材に使われる。
83	1980 年代は排他的経済水域をぎりぎりまで使った沖合漁業が多かったが，2000 年代からは養殖の割合が高まっている。
86	原油輸出国はサウジアラビアなどペルシャ湾岸に接した中東地域の国が多く，輸入国は現在中国・日本・韓国など東アジアの国とアメリカ・インドなどである。
90	鉄鉱石産出国はオーストラリア・ブラジル・中国など安定陸塊で産出されるが，銅鉱の産出国はチリ・ペルーなど新期造山帯（アンデス山脈）沿いの国が多い。
91	ボーキサイト産出国はオーストラリア，ギニア，ブラジルなど熱帯雨林気候，サバナ気候でみられるラトソルが分布している国が多い。
93	ビール工場は大都市の消費地に隣接することが多く，典型的な市場指向型工業である。
94	第二次世界大戦直後まではアメリカが世界一の粗鋼生産国であったが，1980 年代から日本がアメリカを追い抜いた。1990 年代半ばからは工業化が伸展した中国が世界一の粗鋼生産国である。
95	日本では原料である原油をタンカーでの輸入に頼っていることもあり，太平洋岸や瀬戸内海の海に面した場所に石油化学コンビナートは立地している。
97	2010 年前後から中国の工業化が伸展し，所得水準が伸び自動車所有率も増加した。外国企業も賃金水準の低さから中国に生産拠点を持つようになり，中国の自動車生産台数が世界一となった。
98	テレビ，冷蔵庫など消費者向け家電製品は組立型産業で中国や東南アジア諸国での生産が多い。開発のために

	資本や知識が必要な工作機械は日本やアメリカ合衆国，ドイツなどの生産が多い。
99	半導体は付加価値が高く，重量も比較的軽い。よって比較的賃金が安く，高速道路で運搬できる九州・東北のインターチェンジ近くに工場が立地する。
100	日本ではゲーム，アニメなどのコンテンツ産業の国際的競争力があるとされる。ただし，コンテンツ産業は有能な人材，最新の情報，出資企業などが必要なため東京一極集中を加速させるとも指摘されている。
102	大型小売店は郊外の幹線道路沿いに立地し，自動車による来店を前提としている。銀行は主に中心市街地に立地する。地方都市では，都市銀行の支店は都心に立地し，地方銀行は都心と郊外の2本立てで立地する傾向がある。
103①	中国，韓国，台湾といった東アジアからの旅行者が2010年代に入ってから増加しており，ここ数年は急増している。特に，急激な経済成長を背景に中国からの旅行者が急増している。一方，アメリカ合衆国からの旅行者も，2010年代に入ってから増加傾向ではあるが，その増え方は東アジア諸国と比べると緩やかである。2020年はすべての国・地域において新型コロナウイルス対策で入国制限が実施され，旅行者数が激減している。
103②	イタリア，スペインは観光大国であり，北に位置する国々からのバカンス客をリゾート地に集めている。また，歴史的な観光資源も多く世界中からの観光客も多い。一方，ギリシャやエジプトも歴史遺産は多いものの，交通インフラが劣っており，経済規模がイタリアやスペインと比べると小さいため，輸出額に対する国際観光の収入割合が高くなる（観光が重要な外貨獲得源である）。
104	日刊新聞を取り巻く環境は，各国の経済発展の度合いや国土面積，戸別宅配制度（日本），交通インフラや情報インフラの整備を反映する。新興国では発行部数が伸びているのに対し，先進国ではメディアの多様化により，購読者数は減少している。印刷物としての日刊紙は配送圏が限定されるため，国土面積の広い国では地域ごとに数多くの地方紙が発行されている。
105	観光客数の激減により，観光客の出すごみがなくなり，濁っていた運河の水がきれいになった。オーバーツーリズムによる環境破壊について考えさせられる変化である。
107	東京からの国際線は中国・韓国・東南アジア，中でもシャンハイ（上海）・ソウル・台北・ホンコン（香港）などへの便が多い。近年の経済発展や，モノ・人の移動が増えたことが背景にある。
108	2019年の日本の魚介類の輸入先上位3か国は中国，チリ，アメリカ合衆国である。穀物類は小麦，トウモロコシ共にアメリカ合衆国が1位で，以下小麦はカナダ・オーストラリア，トウモロコシはブラジル・アルゼンチンが上位3か国である。肉類はアメリカ合衆国・オーストラリア・タイが上位3か国である。
109	中国の国内旅客輸送は，航空運賃が割高であり，自家用車の保有率もまだ低いことから鉄道の利用者が多い。2007年以降，北京と各地を結ぶ高速交通網が整備されつつあり，鉄道の利用客はさらに増える傾向にある。
110①	固定電話は電線や電柱などの設置に費用がかかり，発展途上国にとって負担が大きいため。
110②	海底ケーブルは，より情報の交流がさかんなアジア～北アメリカ間，ヨーロッパ～北アメリカ間など，北半球に多く敷設されている。
111	インターネットの利用者数では，中国・インドなど人口の多い国が上位にくるが，利用者率でみるとイギリス，カナダ，日本などの情報先進国が80%を超え，中国は54%である（2017年）。
113	アジア。日本のODA供与相手国は，インド，バングラデシュ，ベトナムなどアジアが主であったが，工業化・経済発展によりその額は減少傾向で，2021年度末には中国へのODAは終了する予定である。
116	今後はアフリカにおいて人口増加を背景とした経済成長が予想されている。一方，ヨーロッパや日本は人口減少が課題であり，中国も今後少子高齢化が課題となると予想されている。
117	「産業構造の高度化」の視点で見よう。第3次産業に早い段階でシフトしているアメリカ合衆国，次いで高度経済成長期以降，急激に第1次産業が減少した日本。近年の経済成長で産業構造が大きく変化したといわれる中国で

	あるが，日米と比較するとまだまだ第1次産業就業者割合は高い（26.1%，2018年）。
118	スーダンでは南スーダン独立に至るまでの経緯や西部のダルフール地方での虐殺によるもの。ミャンマーは軍事政権による民主化運動への弾圧によるもの。
119①	1990年前後に社会主義政権が崩壊し，国の社会システムや経済面での混乱が生じた。資本主義体制への移行に伴う価値観の喪失や社会保障制度の不備などにより，死亡率の上昇（自殺の増加），出生率の低下を招いたから。
119②	1970年代男性への不妊治療政策が失敗して以降，緩やかな家族計画（子ども2～3人）政策をとっている。そのため2020年代には世界1位の人口を有する見通し。
121	北欧諸国では手厚い「高福祉」社会を支えるための「高負担（高い租税負担率）」社会となっている。例えば消費税は，ノルウェー・スウェーデン・デンマークは25%，個人所得課税についても，その最高税率はデンマーク・スウェーデンでは高い。
122	都市部では中小小売店が閉店・撤退している。車の運転もできず，家族の支援も得られない高齢者が増加し，「買い物難民（買い物弱者）」とよばれている。
125	集村は共同での農作業や外敵に対する共同防御など集住して共同生活することに優れている。一方，散村は各農家のまわりに農地を集めやすく，効率的な農業経営がしやすいという利点や，火災の延焼防止といった特徴がある。
126	囲郭都市とは城壁で囲まれた都市である。ヨーロッパやアジアの大陸において古代～中世にかけて建設されたものであり，建国が1776年と歴史の浅いアメリカ合衆国には存在しない。
127	唐の長安をモデルに直交した道路網（グリッドレイアウト・条坊制）をつくった（平城京や平安京など）。
129	CBD（中心業務地区）のある大都市圏の中心都市は，周辺地域から多くの通勤通学者が流入し，昼夜間人口比率は高い。一方，衛星都市はその逆で，昼夜間人口比率が100を下回る（ニュータウンはベッドタウン）。大都市圏外縁部に位置する都市は，農村地域を多く残した郊外都市であり，若年層の流出により老齢人口の割合が高くなる傾向にある。
130	首都に行政機能や商工業が集中している国。出生率が高く若年人口率も高い国（発展途上国が多く，国内で比較的インフラの整った最大都市へ，雇用機会を求めて人口流入が起こる）。中南米諸国やサハラ以南の旧植民地国では，宗主国が支配拠点とした都市を整備したため，独立後もその国の中心都市として発展している例が多い。
131	成長期（都心にCBDが形成され，多国籍企業の中枢管理部門や金融機関が集積。都市域が郊外に拡大し，ニュータウン開発が進行）。衰退期（都心周辺部で空洞化が進行し，低所得層や移民が老朽住宅に入居，治安や衛生環境が悪化する＝インナーシティ問題の顕在化）。再生期（衰退した都市内部を再開発し，オフィスや高級住宅地を建設。高所得層が再び都心部に流入する＝ジェントリフィケーション）。
132	産業革命による経済発展は，同時にロンドンの都市環境を悪化させた。職住近接のニュータウンを郊外に建設する田園都市構想を提案したハワードのアイデアは，第二次世界大戦後に大ロンドン計画に受け継がれ，ロンドンの周囲をグリーンベルトで囲み，その郊外へニュータウンを建設した。一方，都心周辺部ではインナーシティ化が進行し，特に港湾地区のドッグランズでは空洞化による荒廃に対し再開発を実施，現在はオフィス街に変貌している。
134	都心部では単身者の生産年齢人口が多く，年少人口は少ない（③）。郊外ではファミリー層（夫婦とその子ども）のボリュームが多くなり，30～40歳代とその子どもの年齢層が多くなる（①）。大都市圏外側では60歳代以上の年齢層が多く，特に長寿で高齢な女性が多いグラフとなる（②）。
136	強い日差しから身を守る。
137	風通しを良くして壁を厚めにし，小さな窓の家屋を建築する。
138	ヒンドゥー教，イスラームの宗教上の禁忌の影響により，インドを中心とする南アジア地域で肉類の消費量が最も少ない。

141	シンガポールでは英語，タミル語，中国語，マレー語が公用語で，そのうち教育現場などでは共通語として英語が用いられる。
142	アフリカ北部はアラブ民族が多く，ムスリム（イスラーム教徒）が多いが，中南部では自然崇拝や植民地支配を受けた影響でキリスト教を信仰する人が多い。
143	ムスリムは豚肉を食すことや飲酒は禁止。ほかに異教徒によって処理された肉なども食さない。
144	1990年代初頭に，旧ソビエト連邦の解体と旧ユーゴスラビア連邦の分裂により独立国が急増したから。
145	1990年代から21世紀は経済のグローバル化が進み，音楽などの文化的交流はさかんになった。一方で国際紛争や地球温暖化など全世界レベルで取り組むべき課題も多い。1992年リオデジャネイロで温室効果ガスの排出削減を目標とした気候変動枠組み条約が採択され，今後の取り組みが注目される。
146	宇宙空間は含まれない。領空の高度限界は大気圏内と考えられる。
153	2020年末における難民受け入れ数の多い国は， 1位トルコ， 2位コロンビア， 3位パキスタンである。
154	不要。排他的経済水域（EEZ）は領海外で，漁業や資源開発などの経済開発を除き，船舶の航行などは自由である。
191	チョワン（壮）族。総人口1,692万人で大部分がコワンシー壮（チョワン）族自治区に居住する。チワン語や中国語を使用し，仏教，道教などを信仰する。
193	石炭。中国は世界1位の石炭産出国であり，主要エネルギー源としてその消費量は莫大である。石炭は中国の一次エネルギー供給の 62%（2018年）を占める。硫黄分を多く含む石炭が燃料として大量に利用されるため，大気汚染や酸性雨の被害も深刻である。
194	シャンハイ（上海）。2位シンガポール， 3位シェンチェン（深圳）， 4位ニンポー（寧波）， 5位プサン（釜山）。6位はホンコン（香港）である（2017年）。
197	新期造山帯。ユーラシアプレートとフィリピン海プレートの「狭まる境界」にあたり，南北に走る台湾山脈は高峻で標高3,000mを超える高山が連なる。
198	スマトラ島。北部でアチェ人による分離独立運動が続いたが，2004年のスマトラ島沖地震・津波被害を契機に政府と歩み寄り，和平が実現した。
200	西側と南側をイギリス植民地，東側をフランス植民地にはさまれたタイは，その植民地化をめざす英仏両国が戦争を回避するため，両国の緩衝地帯として独立が維持されることになった。
202	人口最大はASEAN（6.7億人，2020年），GDP最大はUSMCA（24.4兆ドル，2019年）。NAFTA（北米自由貿易協定）に代わる新協定USMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）が2020年7月1日に発効。米政権による保護主義が強まった内容。
204	高潮とは，台風や強い低気圧の接近の際に生じる海面上昇や強風による沿岸への海水の吹き寄せをいう。気圧が1hPa（ヘクトパスカル）低下すると海面は約1cm上昇する。一方，津波とは，地震や海底火山噴火による震動など，海底の急激な地形の変化により海面が盛り上がる現象。
206	パキスタンの公用語（国語）はウルドゥー語，バングラデシュの公用語はベンガリー語。ともにインド・ヨーロッパ語族に属する言語で，インドの公用語にも含まれる。パキスタンでは英語もまた公用語。
208	ベルギーとイスラエル。ダイヤモンド原石の切削・研磨を行う加工業は，伝統的技術を有するベルギー，イスラエル，インドの3か国にその大半が集中する。
210	トルコ。トルコ中部のアナトリア高原カッパドキア地方には凝灰岩質の岩石をくりぬいた洞窟住居が多くみられ，かつてキリスト教徒が造った地下教会もある。
214	トルコ。第二次世界大戦後，トルコは西側諸国の一員として1952年にNATOに加盟し，東西冷戦が続く中で，その地理的位置の重要性から，旧ソ連など東側諸国に対する前線基地としての役割を担った。
215	カタール。天然ガスの埋蔵量3位（2021年），生産量6位（2019年），輸出量3位（2019年）であり，日本の原油

	および天然ガスの主要輸入先の一つである。
216	アフリカ大陸は台地状の地形で，特に河川の下流部における傾斜が大きく，航行に適さないため。
217	スワヒリ語・英語
218	消費国である先進国により取引価格が決まるため，価格変動の影響を受けやすいから。
222	偏西風帯に位置し，また沖合を流れる暖流の北大西洋海流の影響を受け，冬季でも氷点下になりにくいため。
223	ドイツ，スイス
224	市場の動向を意識した極めて企業的な生産性の高い農業経営と，植物工場といわれる高度な技術で効率的に生産しているため。
227①	EU（ヨーロッパ連合）加盟により物資の国境がなくなり，労働賃金が安いので低コストで生産できる。また新しい市場が開拓できる可能性が高いため。
227②	スカンディナヴィア山脈があり，包蔵水力が大きいため。
228	EU（ヨーロッパ連合）に加盟しEU基準になると，水産業の生産・貿易に不利な影響が生じるため。
230	温度変化が大きい大陸性気候と，冬季のシベリア高気圧の影響による。
231	ヨーロッパ・ロシア地域とシベリア鉄道沿線の人口密度が高い地域，資源開発と軍事拠点のある地域にロシア人の比率が高い。
235	経済格差を背景に，高収入のアメリカ合衆国をめざすため。
236	日本では人体や環境への影響を懸念して，遺伝子組み換え作物規制条例により栽培が規制されているため。輸入品には遺伝子組み換え作物の表示が義務づけられている。
239	航空宇宙など先端技術やインターネットを活用した新しい情報通信サービス。
241	かつての植民地時代の宗主国の言語が公用語となっている場合が多いため。
243	ブラジル高原に分布する玄武岩や輝緑岩などの火山岩が風化した赤紫色の肥沃な土壌。水はけが良く，コーヒーの栽培に適する土壌である。
244	さとうきび
246	地中海性気候区の都市で，夏に気温が低く，降水量が多い。パースは南半球に位置するため，季節が北半球と逆になることに注意。
248	牧羊地域は牧牛よりも降水量の少ない乾燥した地域に分布している。
250	地球温暖化による海面上昇によって，キリバス・ツバルなどは国そのものが存亡の危機にひんしている。ただし，海面の上昇だけが水没の原因ではない。
251	地球温暖化により永久海氷地域が縮小し，大陸沿岸が年中航路として使用できる可能性があるため。
252	豚，肉用牛，ブロイラーなどの畜産関係に従事する人が多いため。
254	温暖で晴天の日が多い瀬戸内気候であるため。
256	リアス海岸
258	輸送機械（自動車など）の企業や関連工場が多いため。
260	野菜。首都圏向けの近郊農業や園芸農業，高原野菜の栽培がさかん。
262	米，畜産